

がまくんとかえるくん

と

仲良しのかえる、がまくんとかえるくん。ふたりの間で繰り広げられるのは、濃くて、可笑しくて、ちょっぴり切ない……様々な愛すべきエピソード。アーノルド・ローベルの「がまくんとかえるくん」シリーズは幼年童話の傑作として、たくさんの人たちに50年以上も愛され続けています。そんな「がまくんとかえるくん」の世界が生演奏とともに、お子様から絵本ファンの大人まで、みんなで楽しめるお芝居になりました。

主催:公益財團法人いたみ文化スポーツ財團、伊丹市
後援:伊丹市教育委員会
協力:文化出版局、ブルーシープ

原作 アーノルド・ローベル / 翻訳 三木卓 / 脚本・演出 ごまのはえ / 音楽 若山祐美
2022年5月15日(日) 15時開演(14時30分開場) 東り いたみホール 大ホール



Arnold Lobel, Published illustration for Arnold Lobel's Four Frog and Toad Books. Courtesy of the Estate of Arnold Lobel.
© 1970 Arnold Lobel. Used by permission of HarperCollins Publishers.

キミのおはなし

絵本『ふたりはともだち』「おてがみ」より

おすすめ年齢 5才以上

がまくんとかえるくん と キミのあはなし

絵本『ふたりはともだち』「おてがみ」より

原作:アーノルド・ローベル 翻訳:三木卓
脚本・演出:ごまのはえ 音楽:若山祐美

2022年5月15日(日) 15:00開演(14:30開場)
東リ いたみホール(伊丹市立文化会館) 大ホール



Arnold Lobel, Published illustration for Arnold Lobel's Four Frog and Toad Books.
Courtesy of the Estate of Arnold Lobel.
© 1970 Arnold Lobel. Used by permission of HarperCollins Publishers.

みなさんに親しまれる「がまくんとかえるくん」シリーズ。

俳優、音楽家、みんなで一緒に楽しめる舞台公演。キミも、がまくんとかえるくんの世界にいこうよ！

あらすじ

玄関で悲しそうに座っているがまくん。かえるくんがどうして悲しそうなのか聞くと「お手紙を一度ももらったことがない」と言います。それを聞いたがまくんはかえるくんにお手紙を書きます。ところが、配達を頼んだのがかたつむりくんだったので、なかなか届きません。がまくんとかえるくんは並んで座ってお手紙を待っています。…ソウタとその家族は、クラス劇のために「おてがみ」をお手本に自分たちでお話をつくることに。ふたりは、いろいろな人たちといっしょにあれこれと考えてみるけれど…うまくできるかな？

出演 池川タカキヨ／大路絢か／高原綾子／西村貴治
本村玲奈／山谷一也

演奏 クラリネット 鈴木豊人／チェロ 近藤浩志
トロンボーン・ユーフォニウム 久米博
パークッション 高鍋歩／キーボード 若山祐美

脚本・演出 ごまのはえ

大阪府枚方市出身。
劇作家・演出家・俳優。ニットキャップシアター劇団代表。京都を創作の中心に全国で活動を展開。2004年『愛のテール』で第11回OMS戯曲賞大賞、2005年『ヒラカタ・ノート』で第12回OMS戯曲賞特別賞を連続受賞。2007年京都府立文化芸術会館『競作・チエーホフ』で最優秀演出家賞を受賞。劇作家・演出家として注目を集めるほか、演劇ワークショップや演劇講座の講師としても活躍している。2016年より一般財団法人地域創造派遣アーティスト。

音楽 若山祐美

兵庫県西宮市出身。
高校時代に阪神淡路大震災で被災、音楽で絶望から希望を取り戻したことで音楽家を志す。原曲に新たな魅力を与える編曲(アレンジ)の力に惹かれ「色々な音が出る楽器で編曲を学びたい」とシンセサイザーを専攻。キーボード奏者として活動する傍ら、田中克彦氏の下でビッグバンドアレンジを、宮川彬良氏の下で助手としてオーケストラ、吹奏楽、映像、舞台等の現場で研鑽を積み独立。2019~2020年HelloKittyShowBox特別公演「淡路七福神録」シリーズ3公演では全作編曲を担当。

スタッフ・協力

舞台監督 葛西健一／照明・音響 トップ・プロデュース／宣伝美術 モモトモヨ(モモクリエイト)
演出協力 仲谷萌／演出助手 小山裕暉／制作協力 一般社団法人毛帽子事務所、松本京子(おふいすけが)／制作 東リ いたみホール

連携企画

I'M 市立伊丹ミュージアム
Itami City Museum of Art, History and Culture

「がまくんとかえるくん」誕生50周年記念
アーノルド・ローベル展 開催!

2022年4月22日(金)～6月5日(日)

10:00～18:00(入館は17:30まで) 月曜休館

<https://itami-im.jp/>



「がまくんとかえるくん」シリーズについて

仲良しかえる、がまくんとかえるくん。ふたりの間で繰り広げられるのは、濃くて、可笑しくて、ちょっぴり切ない……様々な愛すべきエピソード。アーノルド・ローベルの「がまくんとかえるくん」シリーズは幼年童話の傑作として、子どもから大人まで、たくさんの人たちに50年以上も愛され続けています。

チケット【全席指定】

一般 2,500円 子ども(中学生以下) 1,500円 ※当日各500円増
おすすめ年齢 5歳以上

※3歳以上有料。3歳未満、膝上鑑賞の場合、1名無料。
鑑賞de寄っつク! itami対象公演



チケット取扱 3月25日(金) 9:00～販売開始

●オンラインチケット →
URL: <https://www.confet-web.com/detail.php?tid=65255&>
※観劇ポータルサイト「カンフェティ」への会員登録(無料)要。
※セブンイレブンでのチケット発券(別途発券手数料要)

●東リ いたみホール

窓口販売／電話予約 072-778-8788(9:00～21:30／火曜休館)

※発売初日のみ電話予約は14:00～



阪急伊丹駅より
北へ徒歩約3分

JR伊丹駅より
西へ徒歩約8分

お問い合わせ 東リ いたみホール(伊丹市立文化会館)

休館日 火曜日(5/3・4・5開館、5/6休館)

664-0895 兵庫県伊丹市宮ノ前1丁目1番3号

Tel 072-778-8788 ※電話番号をお間違えのないよう、ご注意ください

<https://itami-cs.or.jp/itamihall/>

[Facebook https://fb.me/itamihall](https://fb.me/itamihall) Twitter @itamihall Instagram @itamihall

主催:公益財團法人いたみ文化・スポーツ財團、伊丹市

後援:伊丹市教育委員会 協力:文化出版局、ブルーシープ

新型コロナウイルス感染症対策について ●歓声や大声は出さないようお願いいたします。●公演当日はマスクをご着用ください。●公演当日に検温を実施し、37.5度以上の発熱が認められる場合は、入場をお断りします。●観覧者および関係者に新型コロナウイルス感染者が確認された場合の追跡連絡のため、チケット半券(小さい方)の表面または裏面に、来場前に、氏名および電話番号をご記入ください。●当公演会場から感染者が発生した場合、保健所の指導の下、提出いただいたお客様の連絡先に当館または保健所等より連絡をさせていただきます。●プレゼント(花束・手紙等を含む)及び差し入れを辞退させていただきます。